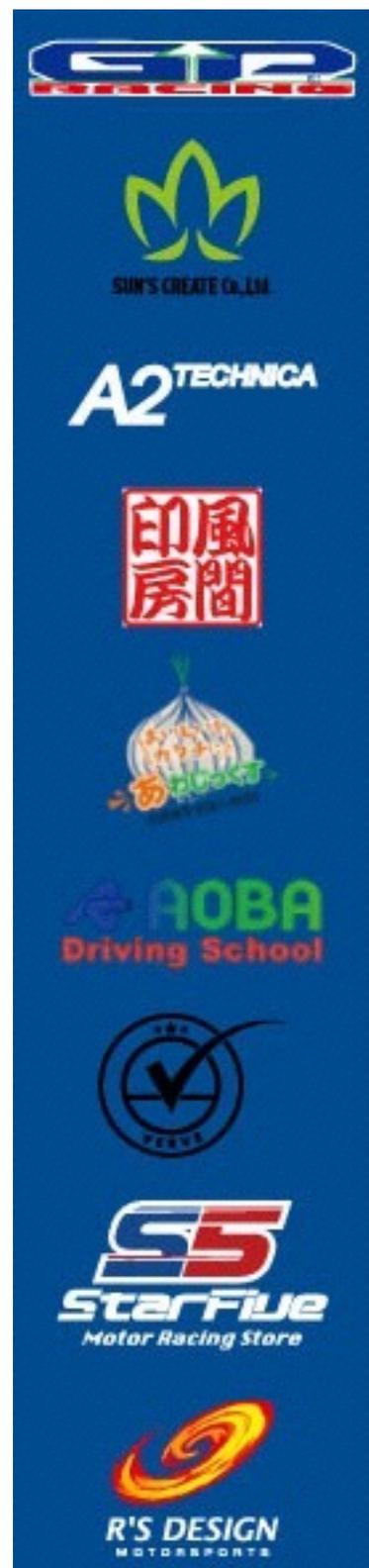


Birth Racing Project

富士スピードウェイ



2019 SuperTaikyu Rd3

サーキット：富士スピードウェイ

総エントリー台数：48台

クラス：ST-TCR 参加台数：9台

チーム名：Birth Racing Project

ドライバー：Aドライバー・太田 祐弥

Bドライバー・松本 武士

Cドライバー・篠原 拓朗

Dドライバー・奥村 浩一

5月30日

練習走行 90分×2本

5月31日

予選 ABCD (15分間)

6月1日~6月2日 15時~ 24時間レース

674Laps

予選結果： AB合算：クラス7位

決勝結果：6位



～木曜日～

ドライ

24時間レースに向けて、新品にして頂いたパーツのチェック走行を最初に行いました。

また、24時間レースではブレーキ類の交換時間もありますがなるべくピット作業の時間を増やしたくありません。そのため耐久性のあるブレーキパッド、ブレーキバランス選択を主に行いました。ブレーキパッドの組み合わせでによりマシンのセットアップも変わってくる非常に大事な部分です。チーム員で納得のいく組み合わせが出来、安心して24時間レースに臨める状態となりました。

夕方からは予選タイムが関係のあるA.BドライバーさんによるNewタイヤでの確認、夜間走行ではライトの光軸確認をして初日の走行を終えました。

～金曜日～ 予選 ドライ

普段のレースウィークとは違い、土曜日から日曜日にかけてのレースなので金曜日に予選が行われました。

ABドライバーさんのアタックにより予選は7位でした。

僕はブレーキローターの焼き入れ、またガソリンを80L積んだ状態でのマシンチェックを行い予選5位となりました。順位以上にマシンの状態は良く、決勝が楽しみな予選となりました。

土曜日～日曜日

初めての24時間レース。今回僕達の乗る19号車AudiRS3はランキングトップによるハンデウエイトと、Audi全車にかけられるハンデウエイトの合計により70kg積んだ状態でのレースとなります。

予選でのアタックもタイム自体は厳しく、また決勝のロングレースに関してはプッシュ出来ない状態でのレース運びが予想されていました。※プッシュする事によりマシンに負担がかかり、トラブルを防止するためです。

2速を使用せず走り、順調にチームメイトの方と僕で周回を重ねている最中、夜間走行の始めに僕自身がレースを壊してしまいました…

夜間走行の際に他クラス車両をヘアピンでインに入ったところ、アウト側の車はそのまま切り込んできて接触してしまい、駆動部分が破損してしまいました。僕のライトが眩し過ぎてどこにいるか分からずにそのまま切り込んでしまったようですが、僕自身本当にチームの皆さん・応援して下さいっている皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。1回イレギュラーで2速を使ってもしっかりストレートで安全に抜き去るべきでした。今後絶対同じ事をしません。

その後はメカニックさんが急ピッチでマシンを直して下さい、約40周遅れでまた走行可能となりました。また接触の影響によりABSが故障し、朝方からはBドライバーの松本さんと僕で交互に運転してチェッカーまで運びました。接触後に早急に直して下さい、またチェッカーまで無事に走りきれぬマシンを作って下さったメカニックさん、チームの方々本当にありがとうございました。

今回のレースに関しては、全ての反省点はその接触の部分にあります。本当に申し訳ございません。

まとめ

まず始めに応援して下さっている方々、チームの方々に本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。
接触以外ではシリーズを考えると非常に良いレースになる予定でした。
最終的には252周（約8時間30分）を走らせて下さり、スタミナに関しても自信を持つことが出来ました。
今回は様々な部分を消耗しないように考えて走り、燃費も伸ばして走る中で沢山の発見がありました。今後のツーリングカーでのレースに必ず活かします。
また、次戦のSuper耐久はオートポリスです。ウエイトも効いてくる中での5時間レースをしっかりと戦い抜きシリーズを良い形で進めていけるようにします。
応援して下さいありがとうございました。
また次戦も宜しくお願い致します。

